

教育委員会だより

第25号 (令和元年11月~2年3月)

発行者
池田町・養基組合教育委員会
池田町六之井1468-1
tel.0585-45-3111 fax.0585-45-8314
e-mail yakuba@town.gifu-ikeda.lg.jp

新型コロナウイルス 感染予防への対応について

町海外派遣研修の中止

令和元年度池田町中高生海外派遣研修については、2月21日から9日間の日程での実施を計画していました。

ところが、中国武漢で新型コロナウイルスによる呼吸器疾患が発生し、国は中国に対する渡航の自粛、一部入国制限等の感染拡大の防止を図りましたが、国内では、渡航歴のない人など感染経路不明者の感染が確認され、また、このウイルス感染による死者も報告されました。

このような状況下での研修の実施は、移動時の感染のリスク、また、研修先での不測の事態への対応を考えたとき、中止せざるを得ないと判断し、生徒・保護者の気持ちには反すると思いましたが、生徒たちの安全を第一に考え、壮行会当日に中止を決定しました。

今後については、この感染状況が収束し、安全が確認されるのを待ち、計画を再開したいと考えています。

小中学校の臨時休校

2月27日に、国から全国の小中高に臨時休校措置の要請が行われたことをふまえ、以下の概要で小中学校の臨時休校を実施いたしました。

【臨時休校の期間】

令和2年3月2日(月)~3月26日(木)

【休校中の対応】

濃厚な接触が危惧される場所への外出は、可能な限り自粛。

中学校の部活動、社会体育活動、少年団活動
ジュニアスポーツクラブは中止。

【学校からの連絡】

小学校は、学級担任によるメール・電話・家庭訪問等により実施。
中学校は、各学年の登校口を設定。

卒業証書授与式実施方法の変更

新型コロナウイルスの感染予防に対応し、以下の概要で小中学校の卒業証書授与式を実施いたしました。

【各小学校】

3月25日に、6年生・保護者1名の出席により、内容を一部変更し実施。「終業式・修了式・離任式」は中止。

【池田中学校】

3月6日に、卒業生および「送辞」を担当する代表生徒、後期の2年生執行部員の出席により実施。

来賓は、町長、教育長、PTA会長のみ、保護者は、各家庭1名。

卒業証書は、各学級の代表生徒による代表受領とし、教育委員会告辞のみを実施。町長祝辞、PTA会長祝辞および「蛍の光」の斉唱は割愛。

卒業式前日に3年生の登校口を設定し、公立高校入学試験の事前指導および卒業式の確認を実施。

卒業証書授与式前日に予定されていた、「同窓会入会式・皆勤賞表彰式」は中止。「修了式・離任式」についても中止。

なお、皆勤賞受賞の生徒は、9カ年皆勤賞13名、3カ年皆勤賞52名でした。



クラス代表が卒業証書を受け取る池田中卒業式の様子

入学式実施方法の変更

新型コロナウイルスの感染予防に対応し、以下の概要で小中学校の入学式を実施いたします。

【各小学校】

4月7日に、新入学児童・保護者1名の出席により、内容を一部変更し実施する。
来賓は、教育委員、PTA会長とする。

【池田中学校】

4月7日に、新入学生徒・保護者1名の出席により、内容を一部変更し実施する。

来賓は、教育長、PTA会長とする。

※3月20日現在での予定です。

今後の状況により変更される場合もあります。

各公民館・総合体育館・図書館の対応

公民館主催の催し物については中止します。

一般利用者については、発熱、倦怠感のある方の自粛、小中高生については、短時間の利用を願います。

また、総合体育館の、町外の方の利用は自粛願います。

新学習指導要領

学習指導要領とは、全国どの学校でも一定の水準が保てるよう文部科学省が定めている教育課程（カリキュラム）の基準です。およそ10年に一度改訂され、授業時数や子どもたちが使う教科書は、これをもとに作られています。

今回これが改訂され、小学校では令和2年4月から、中学校では令和3年4月から新しい学習指導要領に基づいて授業が行われることとなります。

今回の改訂のポイントは次のようです。

【改訂の基本的考え方】

・社会に開かれた教育課程を重視し、子供たちが未来社会を

切り拓く資質・能力を一層確実に育成する。

・知識および技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成のバランスを重視し、知識の理解の質を高め、確かな学力を育成する。

・道徳教育や体育などの充実により、豊かな心や健やかな体を育成する。

【教育内容の主な改善事項】

・言語能力の確実な育成

・語彙の確実な習得等により表現力を育成し、国語・各教科で記録、説明、批評、討論などの言語活動を充実する。

・理数教育の充実

・観察・実験などの充実により、さらに学習の質を向上する。統計教育・自然災害に関する内容を充実する。

・伝統や文化に関する教育の充実

・古典、地域の文化財・行事、和楽器、武道、和食・和服などの指導を充実する。

・道徳教育の充実

・道徳的価値を自分事として理解し、深く考えたり議論したりする道徳教育を充実する。

・体験活動の充実

・集団宿泊体験や職場体験等、挑戦や他者との協働の重要性を実感するための体験活動を充実する。

・外国語教育の充実

・小学校に「外国語活動」「外国語科」を導入し、小中高一貫した外国語の学びと、日本語の豊かさ等に気づく指導を充実する。

令和元年度成人式

令和元年度成人式が1月12日、池田町中央公民館で行われ、式典には、新成人278人が出席しました。

当日は、小雨まじりの天候でしたが、スーツ姿や色とりどりの晴れ着に身を包んだ新成人が、懐かしい同級生とあちらこちらで輪をつくり、写真を撮り合う姿が多数見られました。

式典の司会進行は新成人の半谷彩乃さんたちが行い、岡崎町長は「本日の成人式をひとつの節目として、これから社会人としてどう生きていくか、人生の将来図を描き、一度しかない人生に残さぬよう、持てる力のすべてを発揮され、ご活躍されることを心から祈念しています」と式辞を贈りました。



20歳の誓いを力強く述べる新成人

つづいて、新成人代表の濱崎拓真さんが「これからは自らの意思で自らの道を選択し、その選択に覚悟と責任をもって歩んでいかなければなりません。これからの人生が豊かなものとなるよう常に挑戦し続け、関わってくれる人への感謝の気持ちを忘れず、新成人としての責任をもって生きていくことをここに誓います」と二十歳の誓いを力強く述べ、令和初となる式典を終了しました。

教育センター研修

11月19日に教育センター研修により、池田町・養基組合教育委員および各校長16名で、京都府の宇治田原町立宇治田原小学校・維孝館中学校を研修訪問しました。

宇治田原町は、茶畑・柿畑が多く、池田町とよく似た所のある町でした。緑茶の発祥の地ということで小学校の茶園があり、毎年、茶の収穫から加工、本格的な茶の入れ方までの実習をしているとのことでした。当日は、校庭の渋柿を収穫し、干し柿を作る実習がされていました。

今回の目的は、小中一貫校への取り組みの中で行われている小中連携・小小連携と学力向上の取り組み、モジュール授業、ICTの活用等の実践状況を研修することでした。

中学校から小学校へ、また、小学校から中学校へ出向く授業や児童・生徒の合同の活動、小中教職員の間同研修等、義務教育9



校庭の渋柿を収穫する宇治田原小の子どもたち

年間を見通した一貫性のある教育というものが強く意識されている様子が感じられました。また、子どもたちが積極的にタブレットパソコンを使用しているところが印象的でした。

池田中研究発表会



積極的にグループ交流をする生徒たち

11月20日に、池田中学校研究発表会が行われました。これは同校が平成30年度から西濃地区研修校の指定を受け、2年間続けてきた研究実践の発表会で、西濃地区の各学校の先生

を中心とした参観者の中で、九つの教科の授業、全体会・分科会が行われました。

「小集団の対話による学び合いを通して『できた・分かった』と実感できる授業の在り方」が研究主題になっており、各教科で小集団による授業が進められ、グループの中で積極的に話し合い理解を深めようとしている姿が見られました。

数学の分科会では参観の先生方から、

- ・グループ交流の中で、理解が遅い子への生徒同士のフォローが良くてきていた。
- ・小学校で教えているが、小学生に算数を教えるうえで大変参考になった。
- ・ペア交流の中で、お互い自然に指摘し合っているところがすごい。
- ・グループ交流は、生徒たち全員が話せるところに大変意義がある。

- ・グループとペアの使い分けを工夫する点よい。
- ・グループでの交流に留めないで、全体交流でクラス全体の状況を掌握し、理解度を揃えることも必要。



積極的に意見交換がされた分科会の様子

といったグループ交流を評価する多くの意見が聞けました。授業担当の先生方からも参観の先生方からも、日頃の真剣な授業への取り組みが感じられました。

外国語に親しむ温知っ子

12月10日、池田町・養基組合教育委員会指定の研究発表会が温知小で開催されました。

この研究発表会は、西濃地区小学校外国語スタートアップ研修会を兼ねて開催され、町内小中学校の全先生方の他に西濃地区の全小学校から外国語担当の約70名の先生方が参加、また、郡教育委員会連絡協議会の研修会として、揖斐川町、大野町、池田町・養基組合の教育長、教育委員の20名も参観しました。

発表会では、研究テーマを「外国語に慣れ親しみ、主体的にコミュニケーションを図ろうとする児童の育成」と掲げ、全学年と特別支援学級から1学級の授業が公開されました。低学年では、「ハロー」と声を掛け合い友達たちの会話を楽しんだり、カードゲームを通して色や



楽しそうに英語学習に取り組む子供たち

形を学んでいる姿がありました。中学年では、ALTやJALTの先生との会話を楽しんでいる姿が多くありました。高学年では、担任の先生が中心となって英語中心で指導をされ、子どもたちも

戸惑いもなく楽しそうに学習に取り組んでいました。

令和2年度から外国語(英語)が小学校5・6年生で正式に教科の中に位置づけられ、1週間に2時間の授業が行われます。そのためか、高学年の公開授業では、参加者が多く、教室内に入りきれないような状況で、熱心にメモをとったり、子どもたちの会話や発言に耳を傾ける先生が多く見受けられました。

授業参観後は、体育館で研究についての説明と講演が行われました。演題は「小中高連携と英語発信力の強化」で、講師は、金城学院大学非常勤講師の中西哲彦先生でした。中西先生には、今年の夏休みの「池田町スクールフォーラム」でも講演をしていただき、継続的な講演を伺うことができました。

新学習指導要領のもとで新しい学習内容が始まります。池田町は、10年前から教育課程特例校として外国語に取り組んできました。今後も町内の子どもたちが外国語に親しみながら、楽しんでコミュニケーションしてくれることを期待しています。

人生の経験値を高める ジュニアリーダーズクラブ活動

池田町ジュニアリーダーズクラブ活動も4年目の区切りを迎えました。

本年度も「キッズ・サマーキャンプINいけだ」での小学生サポートやレクリエーション進行を始め、「池田っ子まつり」など多くの町関係行事や関係団体行事、単位子ども会行事へのボランティアアスタツフ参加、福島県国見ジュニア応援団との交流事業などを行い、多種多様な経験と人々とのつながりあいの中で成長の糧を得ることができました。

また、新規リーダー研修として「防災・減災学習」をテーマとしたHUG(避難所運営ゲーム)や、プロジェクトアドベンチャー体験学習を行い、課題解決力の向上仲間とのより強い信頼関係構築とコミュニケーション力の向上を図りました。



福島県国見ジュニア応援団交流事業の様子

「やりがい」と「できること」に変えるために、仲間と協力しながら課題解決を図る力や状況に合わせて相手のために何ができるかを考え表現できる力をより高められるよう、今後も活動を推進していきます。

教育委員会の主な活動報告 令和元年11月～2年3月

日付	活動	場所
11月19日	教育委員会・南部校長会研修会	宇治田原町
11月20日	池田中研究発表会	池田中学校
12月10日	揖斐郡教育委員連絡協議会研修	温知小学校
〃	小学校外国語スタートアップ研修会	〃
12月17日	池田町・養基組合合同教育委員会	中央公民館第3研修室
1月24日	揖斐郡教育研究総会	揖斐川町「はなもも」
1月31日	池田町・養基組合合同教育委員会	中央公民館第3研修室
2月25日	池田町・養基組合合同教育委員会	中央公民館第3研修室
3月6日	池田中学校卒業証書授与式	池田中体育館
〃	池田町・養基組合合同教育委員会	教育委員会会議室
3月12日	教育委員会だより編集会議	中央公民館第2研修室
3月25日	各小学校卒業証書授与式	各小学校体育館

編集後記

大変な状況が続いています。正に青天の霹靂です。

海外研修の中止、突然の臨時休校、内容を大幅に縮小しての卒業式・入学式等、子どもたちの事を考えると、複雑な気持ちになります。

しかし、感染拡大を防ぐためには、皆が自分のできることを我慢強く行わなければならないと思います。

経験したことがない制約の下での毎日ですが、全てマイナスではなくて、忘れていた事、気が付かなかった事を一つでも見つけられるような、そんな時に出来ないか、とも思います。

本たよりについて、お気づきの点があれば、お知らせください。

編集担当：河村安泰・西川 昭